

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第3回上越市青少年健全育成センター運営協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告（公開）

① 令和7年度 青少年健全育成センター事業・活動報告

ア 事業・活動報告

イ 街頭指導結果報告

ウ 街頭指導アンケートの集計結果

エ 若者育成支援事業報告

② その他

(2) 協議（公開）

① 令和8年度 青少年健全育成センター運営方針と事業計画（案）

② その他

(3) 情報交換（公開）

(4) その他（公開）

3 開催日時

令和8年2月13日（金）午後2時から3時30分まで

4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟中会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者 氏名（敬称略）

・北峰会長、本間副会長、若木委員、木村委員、保坂委員、竹内（浩）委員、
曾我委員、竹内（恵）委員、鈴木委員、佐々木委員、山崎委員

・事務局：青少年健全育成センター 石田所長、仁田指導員、矢沢指導員

8 発言の内容（要旨）

《議事》

・議題：① 令和7年度 青少年健全育成センター事業・活動報告（公開）

ア 事業・活動報告（公開）

事務局より説明（資料 P1～P2）

質疑なし

・議題：イ 街頭指導結果報告（公開）

事務局より説明（資料 P3）

質疑なし

・議題：ウ 街頭指導アンケートの集計結果（公開）

事務局より説明（資料 P4）

北峰会長：自転車の青切符は、今年の 4 月から実施されるのか。ヘルメット着用しないで乗っていると、警察官から青切符を切られるのか。

石田所長：4 月 1 日から施行され、危険な運転や悪質な運転に対してのみ切符が切られる。ヘルメット着用は、まだ努力義務で、罰則はない。

北峰会長：自転車で飲酒運転をすれば危険運転になるのか。

竹内（浩）委員：飲酒運転に対する基準が、自転車でも以前とは変わってきている。自転車を運転するなら、酒を飲むなど考えることだ。

北峰会長：例えば、生徒が無灯火や一時停止を守っていない時には注意をする。それが続くようなら、今度は青切符になるよと、強く言ってよいのか。

竹内（浩）委員：自転車の違反については、交通ルールと違反による罰則を明らかにして注意すると効果がある。子どもでも大人でも自転車に乗るならば、当然交通ルールを遵守する必要がある。

本間副会長：街頭指導している時に、中学生が何回か横に並んで自転車を運転している状況があった。「来年の春になると切符を切られると困るからね、横並びはだめだよ。ヘルメットも被ってないから、それも気をつけた方がいいよ。」と街頭指導をしてきた。4 月から自転車の青切符が導入されることについて、学校単位で話や指導があるのか。

竹内（浩）委員：小中学校で自転車指導教室を実施している。その時に、駐在や交番の勤務員、交通の担当員などが、新しい法律にのっとなって指導すると思う。具体的なことはまだはっきりしていないので、自転車教室を実施する前に、不明な内容や指導方法について問い合わせをしてもらえると良い。

曾我委員：先ほど育成委員の改選の話があった。かなり高齢の人も仕事をしているようにだんだん世の中が変わってきた。関係団体や関係町内に育成委員の選出を依頼した時に、皆さんから選出が厳しい、大変だというような話を聞いてきた。そういった実態を考えると、前は 80 人だったのを現在の 50 人に減らしてきたが、現状に合わせてある程度人数をもう 1 段階減らしてもいいように考えている。また、青色パトロール車を月 3 回にしたという事で、そちらの方でカバーしている面もある。回るコースも精選したり重点化したりして、全体の見直しを行ってもらおうと、実態に合ったものになると考える。また、各団体の皆さんの負担も減らすことができる。今後、検討してもらえればと思う。

北峰会長：ゲームセンターが近くにあったが、どうなったのか。

仁田指導員：アピナが旧ヤマダ電機場所に移り、建物も駐車場も広がった。

北峰会長：誰でも行っている所のようなのだが、子どもたちが多い場所なのか。一度行ってみようかなと思う。また、新しい機械や子どもたちがやってみたいような機器が置いてあるのかと思う。

本間副会長：多くのガチャがあり、中の様子が大きく変わった。1回1,000円から100円のもあり、品種が多くなった。

・議題：エ 若者育成支援報告（公開）

事務局より説明（資料 P5～P6）

北峰会長：グループ活動で室内できるゲームとあるが、どのようなゲームか。

矢沢指導員：卓球台があるので、そこで卓球をしたり、卓球台を利用しての手作りミニカーリングをやったりしている。また、室内用モルックで団体戦や個人戦をしている。

北峰会長：相談数が令和6年度は236回で、7年度は324回と増えているので大変だと思う。来年度、学びの多様化学校ができるので、仕事が軽くなることを願っている。

矢沢指導員：相談回数は増えているが、実際に利用している人数はあまり変わっていない。1人の来る回数が増えている。

北峰会長：ボランティアで社会貢献ができるような作業などをすることができれば、自立につながると思うがどうだろうか。自分たちが楽しむのもいいのだが、どこかで役立つような活動もまた社会とのつながりになるのではないか。そのことがバイトのようにお金になればより良いと思う。

矢沢指導員：利用者がFitへ来るというだけで、有難いと思っている。グループ利用者の中には、他人と喋れるようになったり、ボランティアとして100キロマラソンの運営に参加したり、図書館や「森と水の公園」のボランティアに行ったりしている人たちもいる。そういう人がグループの刺激になり、将来はボランティア活動に参加できるようになれば良いと思っている。

北峰会長：Fitを利用している人たちだけで、魚釣りなどの野外活動などをやってはどうか。活動に顔を出すというレベルでもよい。

矢沢指導員：グループ活動をスターボックスで行った。ゆっくりしたステップで急がないようにやっていきたい。

・議題：②令和8年度青少年健全育成センター運営方針と事業計画（案）協議（公開）

事務局より説明（資料 P7～P8）

木村委員：環境浄化活動の実施について、苦勞されて実施されているのは本当に有り難い。

石田所長：新潟県では青少年を取り巻く社会環境の実態調査を令和3年まで行っていた。酒類やたばこの自動販売機の数、コンビニやカラオケボックスの数などすべて調べていた。令和4年からは有害図書類の自動販売機1件の調査が続いている。県内には育成センターが11あるので、他のセンターとも情報交換をしながら進めていきたい。

北峰会長：Fitを利用して社会人として一歩踏み出すことができた人たちが、Fitへ行って良かったと言い、同じような人たちがいれば、Fitへ行ってみたらどうかと、言えることが成果だと思う。また、そのような社会になってほ

しい。複雑で大変な時代に私たちは生きている。自己実現をしている大人は、出会う子どもたちから「すごいな」と言われると思う。子どもたちに後ろ姿を見せることで、ついてくる子どもが必ずいる。センターの運営方針、事業計画を着実に実施してほしい。

北峰会長：他の育成センターと情報交換したことは今まであったか。

石田所長：いくつかの育成センターとは交流がある。昨年度の健全育成委員研修で三条市のセンターに行き交流した。市町村ネットワーク代表者会でも情報交流の場がある。

北峰会長：私たちセンター運営協議会委員がどこかのセンターへ行って、委員同士が実情を報告したり意見交換したりすることはしないのか。運営協議会をどのように行っているのか聞くような研修の場があっても良いと思う。

・議題：②その他（公開）

なし

・議題：4 情報交換（各機関・団体からの情報提供）（公開）

竹内（浩）委員：駅周辺で行う特別街頭指導をセンターと協力して実施している。連携した取組に感謝する。配付した資料を参考に説明。

山崎委員：「CAP 上越」は子どもの暴力防止の活動をしている。上越市では小学校へのワークショップの実施回数が去年は0回で、子ども園が2回だった。来年度の様々な事業に参加してほしい。

北峰会長：地域で異年齢集団の行事を実施している。「CAP 上越」から子どもたち向けの話をしてもらいたい。

9 問合せ先

上越市青少年健全育成センター TEL：025-544-4690

E-mail：keniku-c@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料を併せてごらんください。